

## デジタルと紙媒体で地域を結ぶ取り組み

鳥取市自治連合会が主催した町内会長研修（7月1日開催）では、旗ヶ崎二区自治会の活動が紹介されました。この自治会は、解散の危機を乗り越え、新しい自治会のあり方を示す取り組みで注目を集めています。（令和5年 鳥取県頑張る住民自治活動団体等 知事表彰を受賞）

具体的には、地域活動の透明性を高めるために、各事業の目的や費用を住民に公開。さらに、義務的な役目を廃止し、役員なしでも成り立つ仕組みに改善しました。人手が必要な場合には、協力者をその都度募る形式に変更することで、住民が自発的に参加しやすい環境を整えています。

### 第3回 町内会長会：報告（8月7日開催）

#### 【主な協議事項】

- ①令和7年国勢調査実施の協力について(依頼):資料1
- ②取替LED防犯灯設置申込(申請期限9月30日):資料2
- ③秋の鳥取地域一斉清掃について(10月19日):資料3
- (2)自治連合会三市姉妹交流会 :資料4
- (3)自治連合会先進地研修視察 :資料5

#### 【報告事項】

- (1)第1回総務委員会経過報告について :資料6
- (2)第1回加入促進委員会経過報告について :資料7
- (3)町内会長研修会経過報告について :資料8
- (4)県宅地建物取引業協会(東部支部研修会)加入促進講演会 :資料9

#### 【城北地区自治連合会 連絡事項等】

- ①コミュニティ活動支援事業申請されない町内会(報告期限8月31日):資料10
- ②令和7年度鳥取市に対する地区要望事項について  
・グリーン化 ・道路の隅が鋭角:改修 ・一時停止標識設置 ・カーブミラ設置
- ③城北地区 民生・児童委員の地区推薦:状況説明(報告)
- ④袋川・狐川水質浄化対策検討会 現状(報告):資料11
- ⑤“城北にぎわいフェスタ2025”実行委員会(経過報告)
- ⑥賛助会員の募集について(期間:9月末日まで)(城北社会福祉協議会)

また、情報の共有手段として公式LINE（住民の8割が登録）と、紙媒体を併用することで、情報格差を解消し、安否確認や役員の負担軽減といった課題も克服。これにより、世代を超えた住民同士のつながりを深める仕組みが生まれました。

旗ヶ崎二区自治会の取り組みは、地域の未来をつくるヒントになるかもしれません。詳しくは「広報よなご」などでご確認ください！

## 「袋川・狐川水質浄化対策検討会」(8月18日)からのお知らせ(報告)

「袋川・狐川水質浄化対策検討会」が、流域内の地元住民、関係行政機関(国・県・市)、学識経験者等が出席して開催されました。城北地区からは、自治連会長(鈴木)・公民館長(山岡)・狐川を美しくする会会長(野)が出席しました。

令和5年度より山白川から分流して、狐川へ夏期に目標流量を $0.2\text{m}^3/\text{s}$ (増水前流量 $0.05\text{m}^3/\text{s}$ )増水していることはお知らせしましたが、その検証結果と、浚渫状況の報告がありました。

◎増水量は $0.2\text{m}^3/\text{s}$ には届かなかったものの、 $0.15\text{m}^3/\text{s}$ が確保できた。その結果、「塩分遡上による貧酸素化は確認されなかった。以上のことから、様々な要因はあるものの住宅密集地付近では水質の改善傾向であり、増水はある一定の効果があったと思われる。引き続き取り組む。また、住民の声を今後の取り組みに活かすため、アンケート調査を実施する。

\*貧酸素化が原因で、植物プランクトンが増加し、それが死後に腐敗し悪臭を放つ。

◎令和5年度より、千代川と袋川の合流部(浜坂)から順に浚渫し、水質の改善傾向が認められる。工期は令和10年度末まで続き、湯所橋付近までの浚渫を目標にしている。